

ワンちゃんを撫でて話しかけて、笑顔が広がって…。

昨年11月に引き続いてセンターを訪問してくれたJAHAの獣医師さん・飼い主さん6名とワンちゃん6頭による“アニマルセラピー”が、5月22日午後2時から病棟各階のロビーで開かれ、約90名の患者さんご家族に笑顔のひと時を過ごしていただきました。

ミニチュアダックスフンドのこむぎちゃん（写真左上）とさんちゃん、ラブラドルレトリバーのビリーくん（右上）、イングリッシュコッカースパニエルのケリーちゃん（左下）、マルチーズのななちゃん（右下）、シーズーのケンタク

んたち6頭は、ベッドサイド訪問と各階のロビー、緩和の3チームに分かれて、1時間余り患者さんとの触れ合いタイムをつとめてくれました。獣医師でさんちゃんの飼い主の佐々木さんは、「個別訪問を担当しましたが、部屋の前で泣いているお子さんの声が聞こえて、ちょっと躊躇しましたが、お部屋に入ったらピタッと泣き止んで、喜んでくれました。この活動をしていて良かったな、と思う瞬間でした」と感想を。点滴台を引きながらロビーに集まってくださった患者さんたちも、口々に「かわいい～ね」「あったかいね」「おめでとうだね」と頭を撫でたり、話しかけたり、ボールを投げたり、お互いに順番を譲り合って触れ合いの時間を楽しんで

いただけました。飼い主のみなさん、ワンちゃん、ちょっと暑い中で活動、本当にお疲れさまでした。みなさんの頑張りで、患者さんに笑顔の渦が広がりました。

